

大腸癌（進行・再発） 2nd, 3rd Line Cetuximab療法（導入）

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_D	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール : 1コース 7日

使用基準 : 同意書取得必須。EGFR陽性。2nd Line以降。

※ **投与中・投与終了後少なくとも1時間**はVital signs のチェック (Monitor装着を推奨)

※ **Infusion reaction**に要注意

重度のInfusion reaction(気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショック、心筋梗塞、心停止)の発現の報告が**初回投与**又は**投与終了後1時間以内**に多いが、**投与数時間後**又は**2回目以降**の投与でも発現することがある。

※ 血清マグネシウム値のモニターを定期的 (月1回程度) に行うこと。

※ 皮膚症状には早期から積極的な対応を行うこと。

《 使用薬剤 》

セツキシマブ (CET) : (セツキシマブ) 100mg/20mL/V

投与量 :

薬剤	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
セツキシマブ	400 mg/m ²	#VALUE!		1

<< タイムスケジュール : 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 : 6月11日 (木)

day1	0時00分	① 生理食塩液50mL + デキサート13.2mg (6.6mg × 2V) + ポララミン (5mg) 1A 15分で点滴静注
	0時15分	② 生理食塩液 100mL 30分で点滴静注
	0時45分	③ 生理食塩液 500mL + セツキシマブ 0mg 2時間で点滴静注
	2時45分	④ 生理食塩液 250mL 1時間で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)

CPT-11単独またはFOLFIRI療法と併用することが出来る。

その場合、④ 生理食塩液 250mL終了後におこなう。

REFERENCE

Derek J. Jonker, M. D., Chris J. O'Callaghan, Ph. D., Christos S. Karapetis, M. D., et al
Cetuximab for the treatment of colorectal cancer.

N Engl J Med 357 : 2040-2048, 2007

第3回化学療法プロトコール審査委員会承認 : 2008年12月5日、更新 : 2009年6月11日 (第8回)